



ひかり

～ふるさとを愛し、互いのよさを認め、進んで学ぶ生徒の育成～



卒業式

ついこのあいだ令和7年になり、3学期が始まったのに、もう2月が終わろうとしています。ほんとうに2月は逃げていきましたね。みなさんは、逃げる2月をつかまえることができましたか。3年生にとっては卒業の月、3月を迎えようとしていますが、あと2週間で卒業となってしまいます。(和光中学校在籍は3月31日までですが) 卒業式は中学校にとって一番大切な行事です。卒業生にとっては中学校生活最後の締めくくりの場、在校生にとってはこれまでの感謝の気持ちを表す最後のチャンスです。3年間、ひいては義務教育の9年間、お世話になった方々に感謝の気持ちを表せるような卒業式にしてほしいと思います。また、在校生は卒業生のために立派な態度で卒業式にのぞんでほしいです。

大切なこと

2月17日の全校朝礼で野村克也氏の名言を紹介しました。「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」でしたが、勝ちには不思議な勝ちがあるが、負けには必ず原因があり、不思議な負けはない。負けたときには悔いが残ったり、原因を考えたりしようとしていますが、勝ったときには、嬉しさのあまり勝った原因をあまり考えようとしていません。しかし、勝ったときこそ奢らず、謙虚に、さらなる上を目指してがんばらないといけないと思います。野村克也氏は、ID野球の先駆者で「考える野球」を推奨していますが、「野球選手は選手である前にひとりの人間であり、社会の中で生きています。人間としての成長なくしては野球選手としての成長はない」と考え、ミーティングでは野球のことより、社会常識や人間としてこうあるべきだということを選手に説いていました。この他にも名言を紹介したいと思います。

「優勝というのは強いか、弱いかで決まるんじゃない。優勝するのにふさわしいかどうかで決まる」

「ふさわしい」とはどういうことでしょうか?ただ勝つだけでなく、試合までの取組や試合中の態度、ふるまい、そして普段の生活態度が優勝するにふさわしいかどうかだと思います。ただ勝つだけ、強いたけでなく、相手にリスペクトされる存在になってほしいです。

二年生は高知へ、一年生は郷土学習

1月16日(木) 2年団が高知へ校外学習に行きました。高知市内で路面電車に乗って、高知城、美術館、ひろめ市場等の観光地をまわりました。2年生にとっては貴重な体験ができ、修学旅行でこの体験が活かされるといいですね。

1月29日(水) 1年団がふるさとの産業を学ぶために三ノ瀬市、がっこうのイチゴ園、東炭化工を訪れました。ふるさとを学ぶことにより進路や生き方について考え、ふるさとに愛着や誇りがもてるようになってほしいと願っています。

両学年ともに次の学年での行事を見据えた活動ができたようです。



「受賞おめでとうございます！」

◎第20回香川県小中学校総合文化祭 展覧会 中学生の部 (1/10)

美術立体 硬筆

◎香川県中学校新人体育大会バレー競技 (1/26) 第3位

* 氏名は紙面にてご確認ください。